

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	公民館改修事業	会計	一般会計	事業No.	780	施策順No.	28-006
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-5-4-12-2		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	公民館		
施策	28 学習交流活動の推進			事業期間	開始	S51	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	・飯田市教育文化センター、県文化センター及び地区公民館						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		市内公民館等の施設数(箇所)	21	21	21	21	21	
	意図	・安全で快適に利用できる施設づくりによって地域活動の場を提供する。 ・公民館施設の長期維持、管理を図る。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	改修実施箇所数(件)	15	15	23	7	16	7	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	地区公民館の空調設備ほか、緊急性の高い屋根・床の改修工事等計画的に執行した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市教育文化センター、県文化センター及び公民館(全21施設)施設・設備の改修。 ・建築後20年を経過した施設が17館ある等、老朽化の進む地区公民館の改修。 ・利用者の利便性や安全・防災面に配慮して築後25年以上経過した教育文化センター(市公)、県文化センター(県公民館)の老朽化に対する改修計画の策定。 ・大規模改修計画については、基本構想基本計画の後期計画に合わせ、関係部署・施設と連携しながら検討する。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 市公民館ほか市内21公民館の改修工事の実施 ・山本公民館講堂ほか3公民館の空調設備設置工事(4,022千円) ・座光寺公民館ほか2公民館の屋根改修工事(5,365千円) ・上久堅公民館床改修工事(922千円) ・県公民館防火戸改修工事(788千円) ・松尾公民館駐車場区画線工事ほか6件(1,044千円)	1.工事箇所数	1. 16件
23年度実施計画	1 市公民館ほか市内21公民館の改修工事の実施 2 大規模改修計画について、基本構想基本計画の後期計画(H22年度)に合わせ、関係部署・施設と連携しながら策定する。	1.工事箇所数	1. 7件

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		12,404	12,138	8,550		
計(A)		12,404	12,138	8,550		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			12,138			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりの拠点施設として、快適な学習環境を整えた施設を願う市民要望が強い。 ・市民からも強い改修希望が出ており、消防署をはじめ関係機関からも早急な改善を求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	・快適な学習環境の整備ができ、利用者の利便性を図ることにより、①学びの機会が得られる②多様なネットワークが広がる③社会活動に主体的に参加する。	施策の成果指標又はムトス指標	学習活動を行っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのような貢献しましたか	4年間の振り返り	市内各公民館の必要な改修を行い、利用者に安全で快適な学習環境を提供してきた。		
	後期に向けた課題	昭和50年代に建設された公民館が多く老朽化が進む中で、耐震化工事等の大規模改修について、長期計画に基づく改修が必要になっている。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	改修の重要性・緊急度を考慮しながら、計画的に改修を行ってきた。 利用者の利便性や安全・防災面に配慮し、全公民館の水洗化や屋根改修・消防設備改修を主体に実施した。		
	後期に向けた課題	大規模改修計画については、基本構想基本計画の後期計画に合わせ、関係部署・施設と連携しながら検討する。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	国の臨時交付金事業(補助事業)等を活用し、必要な改修は積極的に行った。		
	後期に向けた課題	大規模改修の工事内容の吟味、入札方法の工夫等		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市有施設であるため、市の責務として改修・維持管理している。		
	後期に向けた課題	社会教育関係団体は使用料が無料となっており、今後その実態の見直しや冷暖房料の有料化などについて、受益者負担の原則から検討が必要である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①市民、地域・・・日頃の利用における整理、環境整備 ②市民主体の学習環境づくり(施設維持等)、ISOへの取り組み依頼		
	後期に向けた課題	同上		
全体を通じて	4年間の振り返り	市内各公民館の必要な改修を行い、利用者に安全で快適な学習環境を提供してきた。		
	後期に向けた課題	各公民館の老朽化が進む中で計画的な施設改修が必要となるが、特にホールを持つ市公と県公民館は、耐震化に合わせた大規模改修を見据え、文化会館も含めた役割分担を早急に検討する必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------